

# 平成27年度版気づきシートの記入方法等について

## 1. 記入にあたって

- \* 1シート1事例の記入をお願いします。
- \* 固有名詞や個人を特定できる情報は入れないなど、個人情報に配慮した記述をお願いします。
- \* 提出の際には所属長の確認、承認を得ていただくようお願いします。

## 2. 各項目の記入方法について

### I. 利用者及びその家族に対し、支援の難しさを感じた事例

- 「高齢」「障害」「子育て」「生活困窮」「その他」にチェックを入れて下さい。複数チェックも可です。  
例) 80歳の親と50歳の子という場合で子に障害がある場合は、「高齢」と「障害」にチェックを入れ、子に明確な障害がない場合は、「高齢」と「その他」にチェックを入れてください。
- 世帯構成…家族構成、家族関係をわかる範囲でご記入下さい。家族関係図(ジェノグラム)でも結構です。
- 事例の紹介…利用者本人および世帯の状況、支援の状況(他に関わっている機関もわかる範囲で)などをご記入のうえ、支援の難しさを感じている部分(利用者、支援者の困りごと)について、ご記入下さい。

### II. Iの解決策・解決像

この事例について、「こうなればいいのに…」「こんな取り組みができれば…」「こんな制度があれば…」といった思いや、すでに動き出した取り組みがあればご紹介下さい。

### III. 事例をどのように活用していきたいか

この事例について、今後どのように活用していきたいか、チェックを入れてください。

《チェック項目とそれに基づく活用方法例》

- 助言や情報提供がほしい。  
⇒ニュースレターを通じて「気づき」への助言や情報提供を行います。
- 広く学ぶ機会として、縁塾等の研修で演習事例として使用してもよい。  
⇒多職種連携の手法等を学ぶ縁塾にて、いただいた事例を一般化したうえで、演習事例として使用いたします。また、チェックがない場合も、縁センターより、縁塾での使用をご依頼することがありますので、その際はご協力よろしく申し上げます。
- 具体的に事例検討する場がほしい。  
⇒関係機関を交えた、多職種によるチーム会議、事例検討の場づくりを行います。

- ※ 事例の詳細についてヒアリングをさせていただく場合がございますので、ご協力よろしく申し上げます。
- ※ ご記入いただいた事例の個人情報については、滋賀の縁創造実践センターにて責任を持って取り扱います。また、取り扱いについては、上記の3点以外の使用はいたしません。

## 3. 提出方法について

作成いただいたシートのご提供は、以下のお問合せまでFAX、メール、郵送等にてお願いします。

(お問い合わせ先)

滋賀の縁創造実践センター(社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会内)担当: 日野、藤木、時光、  
〒525-0072 滋賀県草津市笠山七丁目 8-138  
電話: 077-569-4650 FAX: 077-567-5160 e-mail: enishi@shigashakyo.jp